

## 平成30年度 第2回美容科教育課程編成委員会報告書

埼玉県理容美容専門学校  
校長 相川 浩一

埼玉県理容美容専門学校は、教育課程編成委員会規則（平成26年12月5日制定）に基づき平成30年度第2回教育課程編成委員会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

## 1 委員（8名）

	氏名	所属
1	間山 弘子	モードサロン ぴりか 代表
2	石井 孝之	ヘアサロン バンビ 代表
3	吉田 三晃	Smile hair 代表
4	加藤 隆代	Hair 先駆社 代表
5	相川 浩一	学校法人 埼玉県理容美容専門学校 校長
6	島田 美紀	同 経営企画部長
7	中川 一江	同 教務課長
8	遠藤 昌宏	同 教務副課長/理容科長

出席者 8名

2 開催日時 平成31年2月19日（火）14：00～16：00

3 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 3階 理事・役員室

## 4 委員会次第

1) 開会 中川教務課長

2) 議長選出 中川教務課長 就任

3) 報告事項

## ①前回会議に対する改善点の報告事項

- ・社会貢献・ボランティア活動について、30年度は9回実施した。6月以降は1年生中心に活動し、マラソンボランティアなどヘアメイク以外の活動にも多数の学生が参加した。お客様にヘアメイクを施す経験を通じて、現場の大変さを知り、自己研鑽の大切さを学ぶ機会になった。
- ・退学者減への取り組みについて、1年生 退学者0名、休学者2名・2年生退学者3名、休学者4名であった。主な理由は経済事情及び進路変更であるが、昨年度よりは減少しており、学生に寄り添って話を聴く姿勢の指導の効果と思われる。
- ・教員の研修計画について、教員の資質向上のため今年度も多数研修を受講した。中でも学級経営や学生のメンタル面の指導にかかる研修は学生指導に活かすべく、今後も継続して受講したいと考えている。
- ・学生の職業意識の涵養について、サロンワーク及び社会の授業を通じて接客やビジネスマナーに重点を置いた授業を行い、就職への実践的な学びを目指す。また、検定試験の受験により日々の学習事項の定着や専門知識への知見を促し、履歴書に記入できる資格を取得するという目的意識を育てることもなるので、今後も継続して行いたい。

## ②今年度報告事項

- ・学校行事ではH30年度に従来の学園祭に変えて新たに本校を会場とした「感謝祭」とさいたま芸術劇場小ホールで「ヘアショーフェスタ」を実施した。外部の会場でカットや着付けを自分たちの作品（ショー）として発表できたことは学生にとっても非常に満足度の高い内容であったし、1年生には来年の自分たちの姿としてイメージ喚起され、モチベーションアップにつながった。会場費等かかる行事であるが、ぜひ次年度以降も継続して行いたい。
- ・H30年11月の全国理容美容技術大会には理容部門3名・美容部門3名が出場したが入賞はできなかった。しかしながら関東大会に出場するべく練習を重ねた間、教員と出場選手との信頼感を構築できたことが全国大会出場につながったので、3月に実施する校内競技会への指導に活かしたい。

## ③次年度の予定

- ・入学式 4月8日（月）
- ・関東甲信越大会・ビューティーフェスタ 7月9日（火）
- ・ヘアショーフェスタ 10月1日（火）
- ・感謝祭 10月28日（月）

## ④学校の展望について

- ・18歳人口の減少にともない入学者数の見込みは厳しくなっている。本校では今後の定員変更に伴い、クラス数が減ることにより全てのクラスに担任・副担任をおき、よりきめ細やかな学生指導をおこなう。空き教室の有効活用も検討する。また、入試システムの変更や効果的な広告の活用を予定している。

## 4) 協議事項

### ①学生対応について（意見徴収）

- ・学生の生活環境や教育のバックボーンは多様化しており、個々の学生に寄り添い、違いに気づき対応していく必要がある。就職後の新人研修にも通じる対応であるので、学校でも今後も丁寧な対応を続けられたい。
- ・以前より教職員の経営に対する意識が高くなってきたように感じる。外部研修への積極的に参加するなど、学校全体で取り組む姿勢を継続されたい。

## 5) 校長挨拶

## 6) 閉会 中川教務課長